



# えんだより

平成 26 年 6 月 472 号  
川渡カトリック保育園  
園長 中鉢 洋子



## 6月の行事予定

- 6/ 4 (水) 交通教室
- 12 (木) 身体測定
- 13 (金) 防災訓練



## 今月のねらい

### <ばら組>

- ・自分の思いや気持ちを伝え、友達との関わりを深める。
- ・梅雨期の動植物や自然に触れ、興味や関心を持つ。



### <ゆり組>

- ・生活に必要な身の回りの事を、保育士に見守られ自分でしようとする。
- ・梅雨期の自然に関心を持ち、見たり触れたりして楽しむ。

### <すみれ組2歳児>

- ・保育士と一緒に簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

- ・友達や保育士と一緒に言葉のやり取りを楽しみながら、ごっこ遊びを楽しむ。

### <すみれ組1歳児>

- ・保育士に見守られながら好きな遊びを楽しむ。
- ・身近なものに興味を持ち探索活動を楽しむ。

### <たんぼぼ組>

- ・健康状態や天候に合わせてながら、戸外に出て外気に触れる。
- ・一人ひとりの生活リズムを大切に、ゆったりとした環境の中で保育士と触れ合う。



肌寒い日や、汗ばむほどの日があったり…この頃は、不安定な天候が続き、体調を崩すお子さんも多く見られます。子どもたちの体調、その日の気象状況に応じて、梅雨を前に、しっかり戸外遊びを取り入れ、体力づくりに心がけたいと改めて思うこの時季です。

「せんせーみてー こんなにいっぱいになったよ、きれいでしょう！」園庭の草花を集めて花束作りに夢中の女の子たち。その表情は、もちろん最高の笑顔。見ている側も嬉しくなるひと時です。

一方、園庭の隅っこをシャベルで掘っている男の子は…小さな幼虫を発見。「見つけたよー！」「え〜？〜どこで〜」…数人のお友達が集まり、ジーッと瞬きせずに覗き込む子どもたち。年長児さんにもなりますと、図鑑や絵本又テレビなどを通して、様々な知識が豊富になり、関心あることに対しては結構集中して調べ…逆に教えられることも。

自然の中で遊びの天才である子どもたちは、いろいろな体験を通して、沢山の学び、感性の育ち、さらに感謝のこころや思いやりのこころなど、沢山育ってくれることでしょう。

じめじめした梅雨も、もうすぐです。梅雨の晴れ間を見てのお散歩では、ぐんぐん伸びる畑の野菜を見に行ったり、梅雨どきならではの自然に触れながら…

「雨が降らないと、お山の木や、畑の野菜、花壇のお花も大きく育たないんだよ。ほら、みんな喜んでみているみたいだね」…子どもたちにもぜひ、話してあげたいですね。 園長 中鉢 洋子



## クラスより



### 『元気いっぱい子どもたち』

ゆり組になり2カ月が過ぎようとしています。子ども達は新しい環境にも慣れ、元気いっぱい登園しています。お外が大好きなゆり組の子ども達。かけっこやお花摘み、虫探しに夢中です。



ミニスキー場の坂を元気に駆けおりて園庭を駆けっこしたり、たんぼぼ

の花をたくさん摘んで「せんせー、みてー！」と持ってきてくれたり、「ちょうちょ、いたー！」「ありつかまえたよー！」と嬉しそうです。その声に、他の子どもたちも「みせて、みせて！」「さわらせて」と集まってきて、みんなで輪になって観察です。言葉のやり取りも楽しそうで、友達同士の関わりも沢山見られるようになって来ています。

戸外で遊ぶには、とても気持ちのいいこの時季。元気いっぱい子どもたちとたくさん戸外遊びを楽しみたいです。

ゆり組 (3歳児) 千葉 佳代



## ミニ菜園より♪

『ぐんぐん大きく、おいしくな〜れ！』  
今年もバケツに稲の苗を植えました。バケツの中にはアメンボウやミズスマシが泳いでいて、まるで小さな田んぼのようです。

ミニ菜園には、昨年好評だった、さつまいも、きゅうり、なす、ピーマン、枝豆、ミニトマト。新しくオクラも仲間入り。ばら組(4・5歳児)さんが大切にお世話をしています。自然の恵みやいつも見守ってくださる皆さまへの感謝のこころも大きく育っていくことでしょう。収穫が楽しみです。

満開の桜の花の後は、桜吹雪になった花びらを集めて、ケーキやごちそう作りなどごっこ遊びを楽しんでいた子ども達。今度は、「あつた！あかくなってるよ。」「おおきいさくらんぼだ！」…と小さな袋を片手に小さなさくらんぼ拾いを楽しんでいます。その集めたさくらんぼの赤い実をひとつ、そっとマリア様の前にお供えして小さな手をあわせていた子どもたち。微笑ましい光景に思わずにっこりでした。そして、自然の恵みに感謝。

## 朝のひとコマ♪